

# 総合戦略・政権評価特別委員会の活動方針について

## (1) 新たな政策課題の「芽出し」について

### 「総合戦略」機能

総合戦略・政権評価特別委員会は、現在、知事会において議論されていないテーマについて企画・検討を行う

アンケートの結果等をもとに、新たな政策課題の「芽出し」候補を決定し、関係委員会等と連携し、可能なものから掘り下げた議論を実施

### 新たな政策課題の「芽出し」項目

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 1 憲法と地方自治             | (詳細は次ページ)       |
| 2 地方創生・日本の将来像         | 地方創生対策本部で検討     |
| 3 防災・減災対策の推進          | 危機管理・防災特別委員会で検討 |
| 4 地方創生に向けた文化・スポーツ振興施策 | 文教環境常任委員会で検討    |

## (2) 憲法と地方自治

全国知事会は、「平成17年度憲法問題に関する報告書」(平成18年3月)により、地方自治に関する憲法問題の主要な論点を取りまとめ、「地方自治の保障・地方分権の確立」を憲法の基本原理に加えることを課題として指摘した。

一方、昨今の参議院の一票の較差を巡る「合区」問題は、伝統ある都道府県単位の地方自治制度を根本から崩すものであり、その要因は、現行憲法において、参議院のあり方をはじめ地方自治に関する規定が不十分であることによるものである。

そこで、憲法における地方自治のあるべき姿を今一度議論し、地方自治を憲法改正の重要論点として提示するとともに、地方自治の更なる充実を強く求めていくこととする。

<b>検討テーマ</b>	<b>憲法と地方自治</b> ○「地方自治の本旨」の明確化      ○国と地方の役割分担を明記 ○財政自主権の保障                      ○条例制定権の範囲の拡大 ○参議院を都道府県を代表する「地方の府」に など
<b>検討体制</b>	総合戦略・政権評価特別委員会の「アドバイザー組織」として有識者による研究会を設置
<b>取組</b>	平成17年度の報告書において整理された課題をベースとして、具体的な条文の形で提起することも含めて取りまとめることを目指す
<b>スケジュール</b>	地方分権の機運醸成に向けて、国の憲法議論の展開もにらみつつ、平成27年度末を視野に取りまとめる方針とする

### (3) 参議院議員選挙に向けた対応について

#### 「政権評価」機能

来年夏の参議院議員選挙に向けて、各政党への要請活動及び公約評価を実施する必要があることから、全国知事会が求めていく項目として「日本創成十箇条(仮称)」を作成する。

「十箇条」の内容は、参議院議員選挙前に、改めて内容のブラッシュアップを行う予定。

#### 日本創成十箇条(項目素案)

- ① 国・地方心を一にして、一極集中型社会を是正すべし
- ② 少子化を克服し、次代を担うひとづくりに邁進すべし
- ③ 地域経済を活性化し、地方の元気を呼び起こすべし
- ④ 再生可能エネルギーを最大限活用し、エネルギーのベストミックスを追求すべし
- ⑤ 地域の誇りを守り育む、文化・スポーツを振興すべし
- ⑥ 一日も早く、東日本大震災からの復興を成し遂げるべし
- ⑦ かけがえのない命を守り抜く、防災・減災対策を推進すべし
- ⑧ 国と地方の役割分担を抜本的に見直し、真の地方分権改革を断行すべし
- ⑨ 地方税財源の充実により、地方自治の強化を図るべし
- ⑩ 安心・安定の源となる、持続可能な社会保障制度を確立すべし